

国家公務員試験ガイド2024  
総合職

MISSION

この国を守り、未来を創る。



# この国を守り、 未来を創る。

## 国家公務員の仕事ってなんだろう？

このパンフレットを手に取ったみなさんはそう思っているかもしれません。

私たちの仕事は国全体に関わる業務を行うこと。

人々の暮らしをより豊かにする政策の企画・立案。

必要な政策実現のための調整、政策の実行・フィードバック。

すなわち、この国に存在するすべての人のための仕事です。

時には、国内にとどまらず国際社会の中で、世界規模の課題に取り組むことも。

担当するミッションはそれぞれの府省で違って、

共通するのはこの国の人々を想い、考え、実行すること。

そこには、国家公務員でしか経験できない社会貢献があります。

あなたの考える豊かな暮らしとは？

あなたの考えるこの国に足りないものは？

人の力は国の力。

一人ひとりの挑戦が国づくりのための鍵になります。

## CONTENTS

- 02 コンセプト・目次
- 04 業務紹介 | 国家公務員のMISSION
- 05 業務紹介 | 各府省のMISSION
- 08 職員紹介 | 私はここで何をするか? | 行政、政治・国際・人文
- 09 職員紹介 | 私はここで何をするか? | 法律
- 10 職員紹介 | 私はここで何をするか? | 経済
- 11 職員紹介 | 私はここで何をするか? | 教養
- 12 職員紹介 | 私はここで何をするか? | 人間科学、工学
- 13 職員紹介 | 私はここで何をするか? | 工学、数理科学・物理・地球科学
- 14 職員紹介 | 私はここで何をするか? | 化学・生物・薬学・農業科学・水産
- 15 職員紹介 | 私はここで何をするか? | 農業農村工学、森林・自然環境
- 16 人材育成 | 研修と多様な勤務経験、海外留学など
- 18 ワークライフバランス
- 20 総合職試験の概要、給与・勤務時間など
- 21 試験から採用までの流れ、官庁訪問
- 22 2022年度総合職試験実施状況、2024年度総合職試験における主な変更点
- 23 総合職試験府省等別・試験の区分別採用状況

職員の所属(役職)は、原稿執筆時のものを記載しています。



## 国家公務員とは？

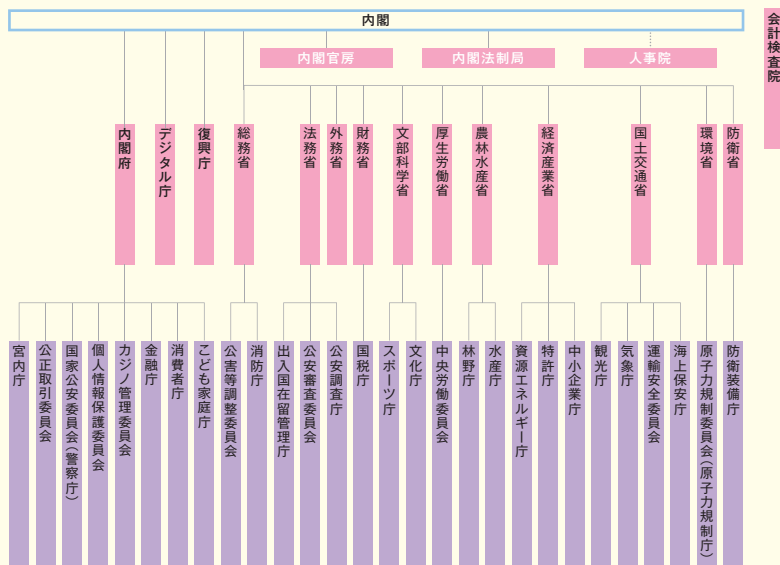
憲法により「全体の奉仕者」と規定され、公のための仕事に携わる公務員は大きく国家公務員と地方公務員に分けることができます。

国の業務に従事する国家公務員は、特別職と一般職があります。

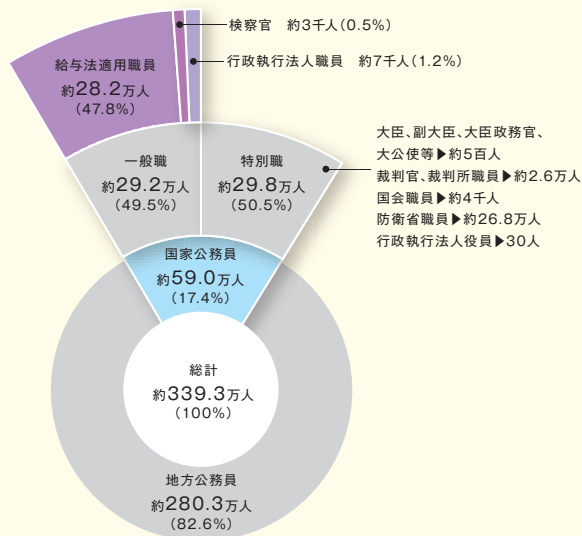
みなさんが頭に思い浮かべる国家公務員とは、各府省で働く一般の行政官や、外交官、税務職員などではないでしょうか。

これらのほとんどは一般職の国家公務員に分類されます。

### 国の行政組織

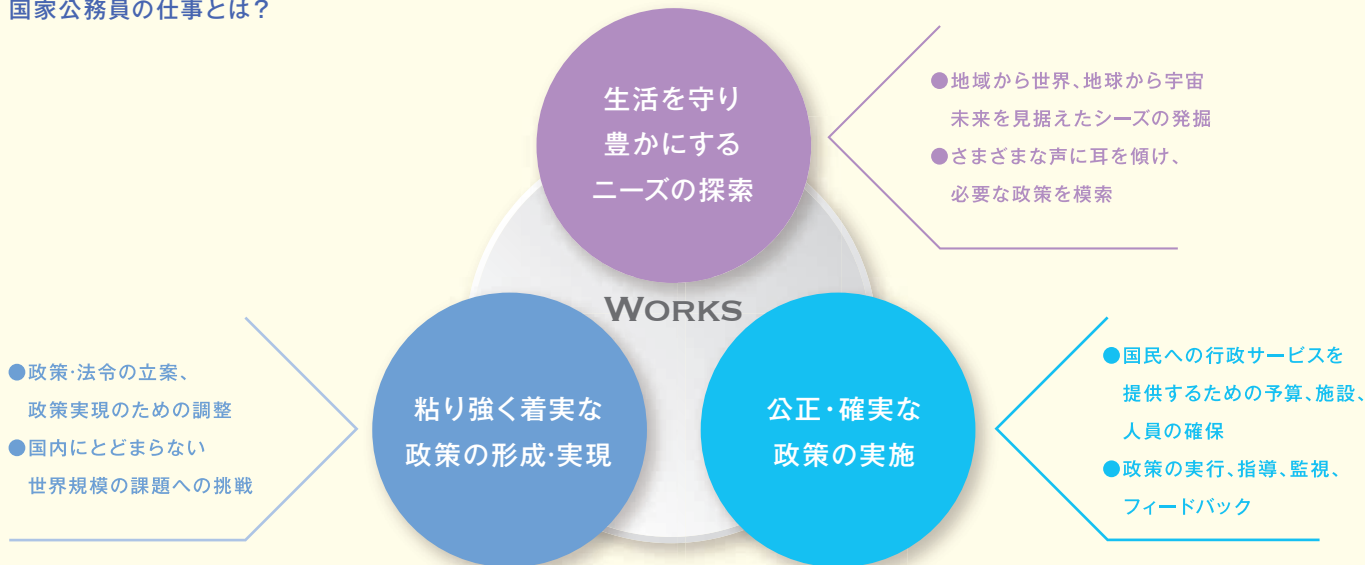


### 公務員の種類と数



- 1 国家公務員の数は、2を除き、令和5年度末予定数である。
- 2 行政執行法人の役員数は「令和4年度独立行政法人等の役員に就いている退職公務員等の状況の公表」における令和4年10月1日現在の常勤役員数であり（内閣官房内閣人事局資料）、行政執行法人の職員数は、「令和5年行政執行法人の常勤職員数に関する報告」における令和5年1月1日現在の常勤職員数である（総務省資料）。
- 3 地方公務員の数は、「令和3年4月1日地方公務員給与実態調査結果」における一般職に属する地方公務員数である（総務省資料）。
- 4 数値は端数処理の関係で合致しない場合がある。
- 5 このほかに、一般職国家公務員の非常勤職員（行政執行法人の職員等を除く）の数は、「一般職国家公務員在職状況統計表（令和4年7月1日現在）」により約15.9万人である（内閣官房内閣人事局資料）。
- 6 国家公務員の内訳の構成比（ ）は、国家公務員約59.0万人を100としたものである。

### 国家公務員の仕事とは？



細かい業務や内容は各府省や担当するプロジェクトによってさまざまですが、全体の奉仕者として連携しながら、政策を実際に前に進めていく。それが国家公務員の仕事です。



## 会計検査院

## 財政執行の監視人

内閣から独立した憲法上の機関として、国や法律で定められた機関の会計を検査し、会計経理が正しく行われるように監督する職責を担う。



## 人事院

## 国家公務員活躍のサポーター

中立・第三者機関として、人事行政に関する公正の確保及び国家公務員の利益の保護等に関する事務を行う。

内閣官房  
内閣情報調査室

## 内閣の情報アドバイザー

官邸直属の情報機関として「内閣の重要政策に関する情報」の収集、分析、報告を行い、官邸の政策決定、遂行を支援する。



## 内閣法制局

## 法令・条約の審査役

法制的な面から内閣を直接補佐する機関として置かれており、閣議に付される法律案、政令案及び条約案の審査や法令の解釈などの任務を担う。



## 内閣府

## 日本の未来を切り拓くデザイナー

経済財政政策、男女共同参画、防災、沖縄政策等の国の重要政策に関する企画立案・総合調整や、栄典、政府広報等の国家基盤となる業務を担う。



## 宮内庁

## 皇室のサポート役

皇室関係の国家事務を担い、国民と皇室の橋渡しを行う。



## 公正取引委員会

## 市場の番人

独占禁止法に基づく取締りや競争環境の整備を通じて、市場の公正かつ自由な競争を維持・促進し、創意あふれる事業者が前進できる社会を実現する。



## 警察庁

## 市民の安全を守るリーダー

警察に関する制度の企画・立案、都道府県警察の指揮監督を行い、公共の安全と秩序を維持する。



## 個人情報保護委員会

## 個人情報の見張り番

個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護するため、個人情報の適正な取扱いの確保を図る。



## カジノ管理委員会

## クリーンなカジノの守り人

IRを支えるカジノの厳格な規制によりその健全な運営の確保を担う。



## 金融庁

## 金融で未来をデザインする

金融制度の企画立案・金融事業者のモニタリング・金融外交等を通じ、金融の力を活用して社会・経済の諸課題の解決に取り組む。



## 消費者庁

## 消費者行政の舵取り役

消費者の利益の擁護及び増進に関する基本的な政策の企画・立案等を担う。



## デジタル庁

## デジタル庁

## デジタル社会形成の司令塔

未来志向のDX(デジタル・トランスフォーメーション)を大胆に推進し、デジタル時代の官民のインフラを一気呵成に作り上げることを目指す。



総務省

## 総務省

## 行政全体のマネージャー

国の行政制度、地方行財政、情報通信等、国家の基本的仕組みに関わる諸制度を担い、新時代の日本を創成する。

FDMA  
住民とともに

## 消防庁

## 災害対策の司令塔

平時は消防に関する制度の企画・立案を行い、大規模災害時は緊急消防援助隊の派遣等のオペレーション業務等を行い、国民の安心・安全を担う。



## 法務省

## 社会の基本ルールのサポーター

法秩序の維持、国民の権利擁護を実現するため、基本法制の立案、再犯防止、出入国管理、登記制度等を担う。



## 出入国在留管理庁

## 外国人施策の司令塔

厳格かつ円滑な出入国管理、外国人の適正かつ円滑な受入れを図るとともに、安全・安心な社会の実現に向けた不法滞在者対策等の推進、難民の適正な保護に加え、共生社会の実現に向けた外国人の受入れ環境整備を担う。



## 公安調査庁

## 情報のプロフェッショナル

暴力主義的破壊活動を行う危険性のある団体を調査し、得られた情報を団体の規制に活用するほか関係機関に提供することで、日本の安全に貢献する。



外務省

## 外務省

## 国際社会における日本の体現者

複雑を極める国際社会において、平和と安全を維持し、「日本国及び日本国民の利益」(国益)の最大化を図る。



Ministry of Finance, JAPAN

## 財務省本省

## 社会の仕組みの設計役

国の予算・税制等の財政政策、為替・金融市場等に対するマーケット関連政策、経済外交・関税交渉等の国際関連政策に関する企画・立案を担う。



## 財務省財務局

## 国と地域をつなぐ

財務省の総合出先機関として、また、金融庁からの事務委任を受け、財政・国有財産や金融等に関する施策を実施し、国・地域社会の両方に貢献。



## 財務省税関

## 国のゲートキーパー

水際における密輸取締、適正かつ公平な関税等の賦課徴収、貿易円滑化の推進等を目的に貿易秩序と国民の安心・安全を守る業務を担う。



## 国税庁

## 日本を根底から支える

約5万6千人の職員が一丸となり、「適正・公平な課税及び徴収の実現」という揺ぎ無い正義感を持ち、この国の原動力として日本を支える。



文部科学省

## 文部科学省

## 未来づくりのプロフェッショナル

教育、科学技術・学術、スポーツ、文化の振興等を通じ、人を育て、知恵を生み出し、未来を創る重要な使命を担う。





## 厚生労働省

### かけがえない生活の「要」

国民生活の保障・向上、経済発展に寄与するため、社会福祉、社会保障、公衆衛生の向上・増進、労働条件や労働環境の整備、職業の確保等を担う。



## 農林水産省

## 農林水産省

### 食と生命の守護神

食料の安定供給の確保、農林水産業・農山漁村の振興、森林の整備・保全、水産資源の保存・管理等を担う。



## 経済産業省

### 日本経済の牽引役

国の根幹の経済成長を担い、グローバルを舞台に、世界と日本を変革する国内外の経済の仕組み・産業の創出・振興等を担う。



## 特許庁

### 「知的財産」の守り人

特許、実用新案、意匠及び商標に関する審査及び事務を行うことを通じ、産業の発展に寄与する。



## 国土交通省

### 豊かな暮らしと経済の実現

多様な「インフラツール」を駆使して国内外の“現場”を動かすことで、豊かな暮らしを支え、経済を活性化させる。



## 気象庁

### 科学技術を駆使する防災の専門官

気象、地震、津波、火山活動等の自然現象を監視・予測し、的確な防災情報を提供し、自然災害の軽減等に寄与する業務を担う。



## 運輸安全委員会

### 事故調査で運輸の安全を担う

航空・鉄道・船舶事故の原因及び被害の原因を究明するための調査を行い、原因関係者に勧告を行うこと等により、再発防止・被害の軽減に寄与する。



## 海上保安庁

### 日本の海の守護神

海上における治安の確保、領海警備、海難救助、海洋環境の保全、自然災害への対応、海洋調査、船舶交通の安全確保など多種多様な業務を担う。



## 環境省

### 地球と人類の未来の守り人

気候変動対策、資源循環促進、生活環境保全、生物多様性保全、東日本大震災からの復興・再生等の施策を通じ、創設以来の使命である「人と環境を守る」取組を追求する。



## 原子力規制庁

### 世界最高水準を目指す確かな規制

原子力規制委員会の事務局として、原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守る。



## 防衛省

### 平和と独立を守る「最後の砦」

戦後最も厳しいとされる安全保障環境の中、あらゆる国民活動の基盤となる国家の平和と独立を守るため、安全保障政策の企画から実行までを担う。



## 防衛装備庁

### 安心と信頼の防衛装備品を

防衛装備品の研究開発、調達、補給、管理の適正かつ効率的な遂行や国際協力の推進に関する業務を担う。



行政

内閣府

様々な境遇の方々に  
思いをはせ、  
政策というカタチに。



内閣官房新型コロナウイルス等  
感染症対策推進室参事官補佐  
入野 史也

2013年採用

もっと  
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

大学院で公共政策を専攻したこと等それまでの経験をいかせると考えたからです。また、多くの人の生活を左右するやりがいと同時に責任のある仕事だと感じたからです。

■仕事の面白み、やり甲斐

公文書管理制度の見直し、こども家庭庁の設立、新型コロナウイルス感染症対応など、時々的重要政策課題に関係する業務に携わってきました。入府した時には思いもなかった新たな政策課題に取り組めることは面白さの一つです。どの分野にも様々な思いを持った方がいます。そうした方々の思いを受け止め、異なる経験や知見を持つ上司や同僚の皆さんと、時に喧々諤々の議論をしながら基本計画等をまとめていくことが醍醐味だと思います。

政治・国際・人文

財務省本省

対立の先に、  
まだ見ぬ国際秩序を描く。



財務省国際局調査課外国為替室  
木村 元気

2017年採用

もっと  
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

小中はいわゆる「荒れている」公立校だったので、大学に入り、生まれた階層や性別、地域による格差が、日本でも無縁でないと気がきました。日本社会の光も影もより深く学びたいという思いで、国家公務員、とりわけ財務省という選択をしました。

■仕事の面白み、やり甲斐

「ロシアのウクライナ侵略は、国際秩序を揺るがす暴挙」。耳慣れた表現ですが、そこで我々が守っている「国際秩序」とは何でしょうか。冷戦後の秩序がグローバルな経済体制の上に成り立っていた以上は、国際秩序は単に軍事・外交的なものではなく、様々なプレーヤーを包摂しうる経済・財政の指針を示すものでなくてはなりません。対立の時代であっても、各国財務省はIMFや世界銀行等と連携し、財政当局として、対立の先の未来を想像しています。まだ誰も見ぬ明日の国際秩序を描くこと、それが財務省国際局の正念場です。



法律

公正取引委員会

競争という  
基礎インフラで、世界の  
発展の全てを支える。



公正取引委員会審査局管理企画課  
減免管理官付(総括補佐・主査)

藤原 衣穂

2012年採用

もっと  
詳しく読む



### ■国家公務員になろうと思ったきっかけ

仕事に夢見がちな私が進路を悩んでいたとき、最初の面接官が「汚いことはしたくないならウチが良い。競争政策を信じる限り、公正取引委員会ではコピー1枚取ることで信念に反する業務はない」と言ってくれたこと。

### ■記憶に残っている業務

消費税率の8%への引上げの際、小売業から製造業・下請業への増税コストのしわ寄せを防ぐ「消費税転嫁対策特措法」の立法に携わりました。消費税率の引上げに当たっての国会での審議は数百時間を超え、増税に伴う諸問題・必要な対策が盛んに議論されました。その中で学んだのは、「問題は必ずある」、「ただし問題の発見で止まっては前に進まない」ということです。アクセルとブレーキを同時に踏むのではなく、まずアクセルを踏み、その後適切にブレーキを掛けるのが政策の舵取りだと感じました。

STAFF INTRODUCTION / 私はここで何をするか？

法律

経済産業省

より良い未来を目指して、  
チームプレーで挑む。



経済産業省大臣官房秘書課  
課長補佐

中野 麻里奈

2017年採用

もっと  
詳しく読む



### ■国家公務員になろうと思ったきっかけ

大学生の時に米国に行った際、米国に留学に来ていた経済産業省職員の方と交流する機会があり、楽しそうに仕事の話をしてくださったことがきっかけで経済産業省に興味を持ちました。その後説明会等に参加するうちに、国富の拡大というミッションに向かって真剣に取り組む職員の方々の熱意と人柄に惹かれ、公務員を目指しました。

### ■記憶に残っている業務

デジタル庁の立ち上げ業務です。  
日本全体のDX推進に向けた政策立案およびそのためにデジタル庁が担うべき役割の整理、広報・採用活動からデジタル庁のロゴ決めまで、様々な業務を行いました。  
1日たりとも無駄にできないというスピード感の中で、各府省から集まった職員や民間人材の方々と共に知恵を出し合い、日々発生する課題や困難をいくつも乗り越えながら新しい省庁を立ち上げた1年間は本当に濃密で、人生の財産になりました。

経済

外務省

国際情勢を  
冷静かつ戦略的に捉え、  
日本の名誉を守り抜く。



外務省経済局漁業室兼資源安全保障室  
兼国際法局国際裁判対策室主査

末澤 晟

2016年採用

もっと  
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

幼少期より海外に興味があり、国際的な環境での勤務を志していました。米国への交換留学中に外交系シンクタンクでインターンした経験を通じて、日本を体現する立場で国際政治を牽引したいとの思いを抱き、外交官を志望しました。

■仕事の面白み、やり甲斐

「激動する国際情勢において、日本を有利にサバイブさせる。」といった知的好奇心と熱量に富む目標を自らの中で掲げつつ、東京で勤務しながらも世界を俯瞰して職務に没頭できる点が面白いと感じます。国際政治や世界史に対する元からの関心が業務に直結している点も、外務省で勤務するならではの魅力と感じています。外交官としての自身の振る舞いが日本を示すため、チャレンジングですが、やり甲斐を感じます。

経済

警察庁

国のために、  
政策の最前線で、  
知恵を絞る。



警察庁長官官房企画課  
課長補佐

山田 樹

2010年採用

もっと  
詳しく読む



■国家公務員になろうと思ったきっかけ

特段のきっかけはありません。しかし、「国のために」という単純な思いで霞が関に入って早13年、日々の業務や報道を通じて、この国の国力の衰えを感じる中、今ほど国のために知恵を絞ることが求められている時はない、と初心に立ち返って仕事をしています。

■記憶に残っている業務

「代理、逮捕しますか？ どうしますか？」  
警視庁新宿警察署に赴任したのは、私が入庁4年目、25歳の時でした。着任したその日に、自分の父親くらいの歳の部下から求められたのが、冒頭の判断です。

逮捕とは、人の一生を変える権限行使であり、時に、地位も名誉も、家族すらも被疑者に失わせることがあります。だからこそ、警察の判断に誤りは許されません。その重たい判断が、まだ若輩の私に委ねられた緊張感。あの日の一件が、私の警察人生の原体験の一つです。

教養

金融庁

世界の  
金融システムを守る、  
最前線。



金融庁総合政策局総務課  
国際室国際銀行第一係  
栗原 和也

2021年採用

もっと  
詳しく読む



### ■国家公務員になろうと思ったきっかけ

大学時代、法学部で租税法や金融法、競争法などの経済関連の法に触れたのがきっかけでした。国境を超えて急速に変化する経済社会と法制度の関係を学んだことが、制度をデザインする中央官庁の業務に関心を持つきっかけになりました。

### ■仕事の面白み、やり甲斐

世界の金融システムの最前線に立っている臨場感が最大の魅力です。週末に海外で銀行が破綻した際は、週明けから直ちに国内外で様々な議論が始まり、そのスピード感に驚きました。その後間もなく開催された金融当局の国際会議では、海外当局の責任者から直接説明がなされ、今後の対応について様々な議論が行われました。数百年にわたる世界の銀行システムの歴史の最先端で世界の当事者と協力して問題解決にあたることができるのは、金融規制を担う金融庁でしか味わえない面白さだと感じます。

教養

防衛省

歴史の転換点において、  
日本なりの答えを導き、  
実現する。



防衛省地方協力局沖縄協力課  
栗田 知明

2022年採用

もっと  
詳しく読む



### ■国家公務員になろうと思ったきっかけ

留学などを通じ、安全保障の確保は現代においても想像以上に困難であることを実感しました。地域の平和と安定を自らの手で確保したいと考えた時、国家公務員が最適な選択肢であると考え、志望しました。

### ■仕事の面白み、やり甲斐

安全保障の世界は奥深く、理論的に優れた戦略であっても部隊や地元という現場を顧みない机上の空論となつては意味がない一方で、長期的な計画なくして安全保障という壮大な事業の実現に向けた調整はできません。ウクライナ侵略などを受け、安全保障政策に対する国民の期待がかつてなく高まる中、職業人生をかけて戦略策定からその実現に向けた調整に至るまでを経験し、安全保障を担う当事者として国民の期待に応えることは、国家公務員の醍醐味だと思います。

人間科学

厚生労働省

大きな責任の伴う  
業務に携わる面白さ。



厚生労働省職業安定局雇用開発企画課  
産業対策係長

中齋 美咲

2018年採用

もっと  
詳しく読む



### ■国家公務員になろうと思ったきっかけ

大学・大学院で臨床心理学を学ぶ中で、相談者の悩みを解決するには1対1のカウンセリングだけでなく制度面での支援も非常に重要であると感じる経験が多々ありました。そのため、より多くの方を支援できる制度立案に携わりたいと思い国家公務員を目指しました。

### ■日々の仕事

現職では雇用調整助成金の業務を担当しています。雇用調整助成金は、経済上の理由で事業縮小を余儀なくされた事業主が休業等により労働者の雇用を維持した場合に助成する制度であり、コロナ禍では多くの企業に利用されています。一方で不正受給も発生しており、実際に不正受給調査を担当する都道府県労働局に対し、対応要領や基準を示し、制度の適正な運営にも取り組んでいます。また、国会でも取り上げられる機会も多く、国会答弁の作成や国会議員へのご説明等を行うこともあります。

工学

文部科学省

中長期的な視点で  
ビジョンを描く。



文部科学省大臣官房会計課  
総務班企画係

正岡 麻里奈

2021年採用

もっと  
詳しく読む



### ■国家公務員になろうと思ったきっかけ

学生時代に交流を持った優秀な研究者が自身の研究活動以外の業務に追われていることを知り、大学等における研究環境の改善や研究者・技術者等の育成・確保を通じて、研究者等を支援したいと思ったことがきっかけです。

### ■仕事の面白み、やり甲斐

局課の窓口部署では、省内全体の動きを見渡せることに加え、部署の内外問わず耳に入ってくる情報量が多いため、各種業務への知見を深めることができます。事業・法人等の担当部署では、実際に研究現場等に足を運び、現状・課題・展望等について議論を重ね、その成果を形にできるため非常にやりがいがあります。また、事務系、技術系に関わらず、省内の様々な業務を経験できることは面白みのひとつです。

工学

特許庁

理系の知識・経験を  
活かして、日本の  
科学技術立国に貢献する。



特許庁審査第二部医療機器(治療機器)  
審査官

神ノ田 奈央

2020年採用

もっと  
詳しく読む



### ■国家公務員になろうと思ったきっかけ

国家公務員試験を受けようと思ったのは、父から、科学技術立国を進める日本では、今後、特許庁の重要性が高まっていくという話を聞いたのがきっかけです。特許審査だけでなく、外国特許庁との制度調和等の業務にも携わることで、日本の産業の発展に貢献したいと考えました。

### ■記憶に残っている業務

特許審査は原則書面で行いますが、出願人の要望に応じて、面接審査を実施することもあります。ある面接審査では、出願人から「数年かけて何十回も試作して改良を重ねた結果、この発明の設計に至った」という開発現場の具体的な話を聞き、出願人の発明に対する熱意や開発の苦勞を知ることができました。発明に込められた出願人の熱い思いに触れて、特許権を適切に付与する特許審査の重要性や責任の重さを改めて実感しました。

STAFF INTRODUCTION / 私はここで何をするか？

数理科学・物理・  
地球科学  
気象庁

火山学の知見を  
国際航空の議論へ。



気象庁地震火山部火山監視課  
火山監視・警報センター

西條 祥

2020年採用

もっと  
詳しく読む



### ■国家公務員になろうと思ったきっかけ

国のために働く国家公務員は小学生の頃からの憧れでした。理系を選択した際に一度公務員の道を諦めたものの、大学で専攻した火山物理学の知見を活かせる職場として気象庁という選択があることを知り、志望しました。

### ■日々の仕事

噴火によって大気中に放出された火山灰の観測及び予測情報を国内外の航空機向けに発表する「東京航空路火山灰情報センター」の業務にあたっています。私は国際業務担当として、海外の情報センターや火山観測所、航空関係者と連携を取り、制度の議論、噴火を想定した情報発表訓練、技術交流に取り組んでいます。また、火山灰情報発表のシステム整備にも携わり、機能改修や新形式情報の技術検討を進めています。

化学・生物・薬学

人事院

同じ目標を目指す一体感。



人事院人材局首席試験専門官付

原 悠起

2022年採用

もっと詳しく読む



### ■国家公務員になろうと思ったきっかけ

国家公務員には、広く人々の視点に立った業務を行えるイメージがありました。国民の方にとって必要なことは何か検討し、制度を構築したいと考え国家公務員を志望しました。

### ■日々の仕事

国家公務員試験の問題作成会議の進行や実施準備などが主な業務です。会議が円滑に実施できるかは自分の気の回し方にかかっていることを意識するようにしています。例えば、議論が行き詰まったときは論点を整理したり、意見が食い違った際は相手の立場を想像しながら調整を行います。

また、所属やバックグラウンドなどが異なっても、適正な試験実施という目指す目標は同じなので、一体感を感じながら業務を行っています。

農業科学・水産

総務省

地域のあふれる魅力をデジタルで応援中です。



総務省情報流通行政局地域通信振興課  
政策係長

濱口 智美

2020年採用

もっと詳しく読む



### ■国家公務員になろうと思ったきっかけ

地域の魅力と都会の豊かさ双方の良さを活かし、全国どこでも、格差のない住みやすい地域にするために、ICT技術の必要性を感じており、理想の実現に貢献できるのが情報通信や地方行政に携わる国家公務員だと考えたからです。

### ■日々の仕事

現職では、ももとの志望動機に近い「デジタルによる地域活性化」に関する予算事業を担当しています。地域の課題をICT×農業、工業、といった様々な分野のソリューションにより解決するため、課題に寄り添った事業メニューで支援を行うものです。去年度から、予算要求から始まり、事業の枠組みの検討、広報、色々な方にヒアリングなど事業に从一开始関わり、地域活性化への貢献、というやりたいことに一番近づける業務に日々邁進しています。

農業農村工学

農林水産省

農業の将来を思い描き、  
その足元を支える  
基盤を整備。



農林水産省農村振興局設計課  
計画調整室計画企画係長  
下吹越 一輝

2018年採用

もっと  
詳しく読む



### ■国家公務員になろうと思ったきっかけ

県の職員であった父親を見て、漠然と公務員を目指していた大学時代に、国の業務説明会に参加し、国家公務員という選択肢を知ったことがきっかけです。実現できることのスケールが大きい点に魅力を感じました。

### ■記憶に残っている業務

国営事業所に勤務していた際、老朽化した農業水利施設を整備する工事に携わりました。航空写真からでもはっきりと確認できるほどの大規模な施設を撤去・補修する工事であり、地域の農業者をはじめ、河川事務所、漁業者、近隣住民への丁寧な説明、粘り強い協議・調整が求められました。しかし、工事完了後、整備した施設から取水された農業用水によって、地域の豊かな農業が営まれる様子を目にした時には、大きな達成感と感動を覚えました。数年が経過した今でも、ふとした時に地図アプリなどで様子を見てしまいます。

STAFF INTRODUCTION / 私はここで何をやるのか？

森林・自然環境

環境省

私の仕事は人と自然の  
仲を取り持つこと  
なのだろうと思います。



環境省自然環境局野生生物課  
鳥獣保護管理室感染症対策係長  
木富 正裕

2019年採用

もっと  
詳しく読む



### ■国家公務員になろうと思ったきっかけ

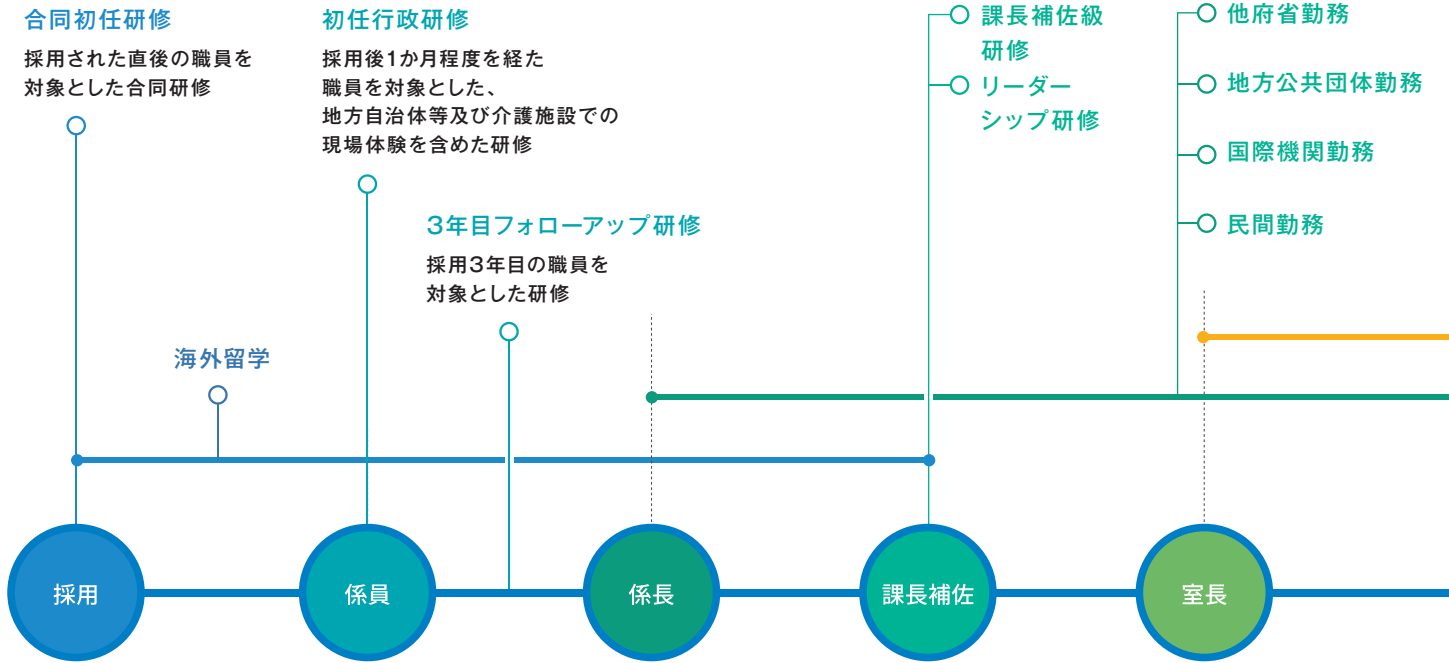
単純なので黒澤明監督の「生きる」を見て思い至りました。趣味の登山等を通じて自然環境に関心があり、自分が貢献できる仕事は何かと考え、応募に至りました。

### ■仕事の面白み、やり甲斐

施策や文書の合意には、多くの関係者・機関の意向や事情に応じて内容を調整することが必要です。そこまで関心が集まらないだろうと考えていた案件に多くの意見が寄せられることもあります。負担に感じることも多いですが、初めて触れる考えに出会うこともあり、その中でそれぞれの意見や背景を汲み取って内容を固めていくことには独特の面白みがあると思います。そうした努力の末に期待した効果が得られ、現場の方々からの反響があると、頑張って良かったなと感じます。

国家公務員には、研修をはじめとするさまざまな育成機会が設けられており、本人の希望や適性も考慮のうえ、その機会が付与されます。

人事院では、各役職段階において求められる資質・能力を伸ばすことができるよう、採用時から幹部級まで、さまざまな研修を実施しています。また、留学や出向等を通じて多様な勤務経験を積むことができます。



行政の国際化の進展、複雑・高度化に対応し得る人材を育成するための、行政官長期在外研究員制度・行政官短期在外研究員制度・行政官国内研究員制度があります。

国別留学人数(名)



令和4年度の派遣者数

161名

令和3年度の派遣者数

164名

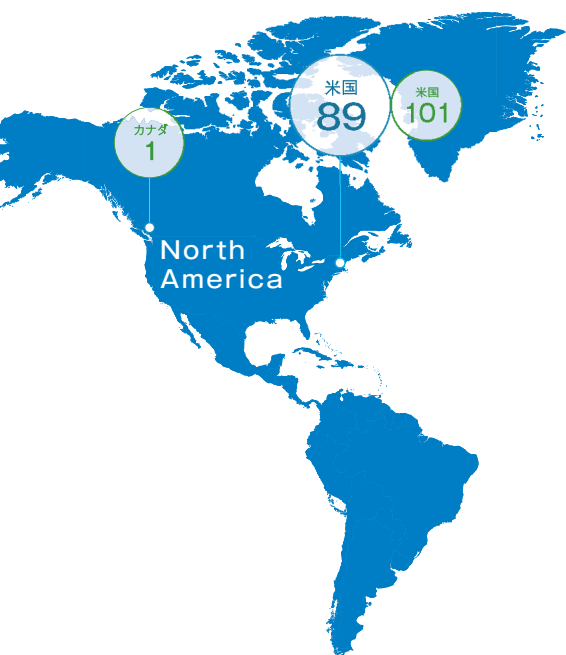
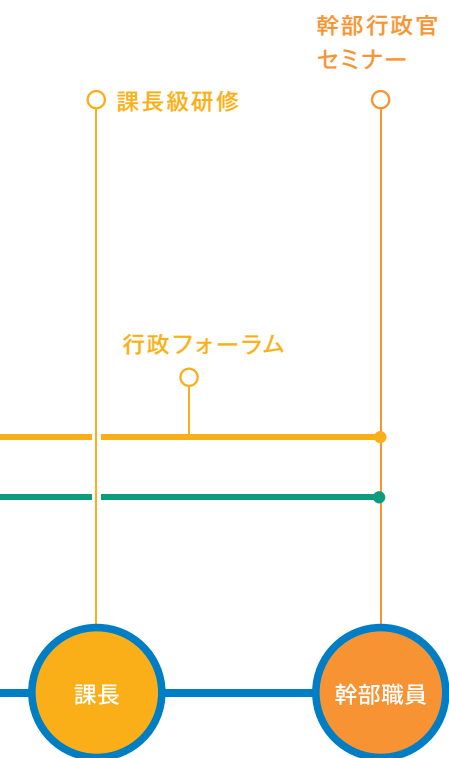
行政官長期在外研究員制度

人事院の選抜審査及び大学院の選考に合格した若手職員が外国の大学院(修士課程又は博士課程)に留学できる制度です。

主な派遣先大学

米国	コロンビア大学、ハーバード大学、ミシガン大学など
英国	ロンドン大学(LSE、UCL)、ケンブリッジ大学など
フランス	パリ政治学院など
オランダ	ユトレヒト大学など





国土交通省都市局総務課都市政策推進官  
 コロンビア大学国際公共政策大学院

国土交通省

西山 直人  
 (一番右が筆者)

2013年採用

## 激動する国際社会の中で 日本の未来をどう描くか

### 留学の志望理由、留学することで 何を得ようとしたのか

これまで、外国人観光客の誘致、まちづくり、災害対応など、幅広い業務に携わってきました。どの業務もとても刺激的でやりがいがありますが、どうしても視野が狭くなりがちになります。一度業務から離れてアメリカで学ぶことにより、外国から日本を客観的に見ることができる点や、効果的な政策立案に必要な「更なる工夫」のアイデアを提供してくれる点など、留学は重要な経験だと感じています。このような思いから、国家公務員としてさらに成長するため、留学を決意しました。

### 留学の魅力、留学を通して得たこと、 海外から見た日本はどうだったかなど

これまでの業務を通じて得た知見や実感をベースに、先進的な手法や世界の動向を学ぶことは留学の大きな魅力です。160カ国の多様なバックグラウンドを持つ学生たちと、環境保護やAIなど先端政策や、世界各国の事例を研究し議論することはとても刺激的でした。また、授業だけでなく日々の生活においても、食文化をはじめとする日本が持つ強みを実感したり、パンデミックに対する対応の違いをアメリカ側から体感するなど、またとない貴重な機会となりました。

### 帰国後、どのように留学経験を 活かしているか又は今後活かせるか

日本から見たアメリカはどのような国でしょうか？自由な国、大都会ニューヨーク。。。しかし一方で、深刻な格差や根強い人種差別に苦しみ、解決策を模索している国でもあります。どのような国でも社会的・経済的に一長一短あり、それは日本も同じだと言えるでしょう。留学を経て得られたこれらの実感は、今後のキャリアにおいて、観光や国際交流など、パンデミック収束後の国際社会における我が国のあり方を検討し、政策を企画・立案する上での大きな試金石となりました。

# 育児等に関する両立支援制度

両立支援制度のほか  
テレワークを活用するなど  
柔軟な働き方ができます

不妊治療で  
通院等をする場合

**出生サポート休暇**  
(第二子以降でも使用可能)  
年5日(体外受精・顕微授精に  
係る通院等の場合は10日)

出産する場合

**産前・産後休暇**

産前6週間、産後8週間  
(多胎妊娠の場合は産前14週間)

生後1年未満の子を  
保育する場合

**保育時間**

1日2回それぞれ30分以内で  
勤務しないことが可能

3歳未満の子を  
養育する場合

**育児休業**

配偶者の就業等の状況にかかわらず、  
原則2回まで取得可能

小学校就学前の子を  
養育する場合

**育児短時間勤務**

短い勤務時間(3時間55分×5日等  
数パターン)での勤務

小学校就学前の子を  
養育する場合

**育児時間**

1日の勤務時間の始めか終わり  
(2時間まで)で勤務しないことが可能

小学校就学前の子を  
看護する場合

**子の看護休暇**

年5日(対象となる子が  
2人以上の場合は年10日)

3歳未満の子を養育又は  
父母等を介護する場合

**超過勤務の免除**

小学校就学前の子を  
養育、又は父母等を  
介護する場合

**深夜勤務、超過勤務制限**

深夜勤務を制限、超過勤務は  
月24時間・年150時間以内に制限

小学校就学前の子を養育、  
放課後児童クラブ等に通う  
小学生の子の送り迎え、  
又は父母等を介護する場合

**早出遅出勤務**

始業・終業時刻を繰り上げ  
又は繰り下げて勤務

配偶者、父母、子、祖父母、  
孫、兄弟姉妹等を  
介護する場合

**介護休暇**

6月の期間内で  
必要と認められる期間

配偶者、父母、子、祖父母、  
孫、兄弟姉妹等を  
介護する場合

**介護時間**

連続する3年の期間内において、  
1日の勤務時間の始めか終わり  
(2時間まで)で勤務しないことが可能

配偶者、父母、子、祖父母、  
孫、兄弟姉妹等の  
介護等を行う場合

**短期介護休暇**

年5日(対象となる要介護者が  
2人以上の場合は年10日)

外国で勤務等をする  
配偶者と外国において  
生活を共にする場合

**配偶者同行休業**

3年を超えない範囲内

その他の  
制度

**妊娠中の通勤緩和  
のための  
職務専念義務免除**

**妊娠中の休息、  
補食のための  
職務専念義務免除**

**配偶者出産休暇**

**育児参加のための休暇**

**育児を行う職員の  
フレックスタイム制**

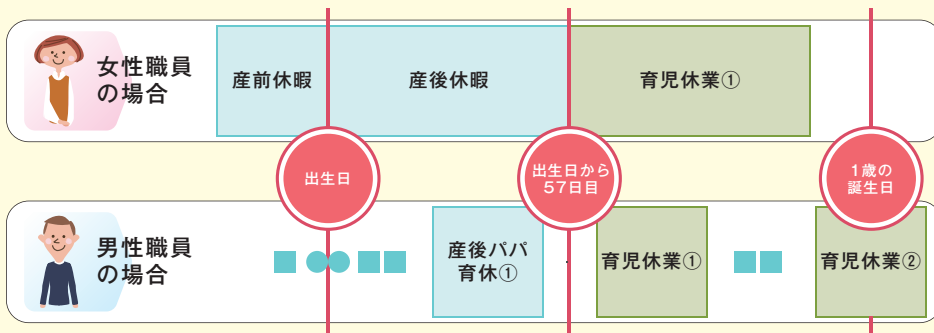
**休憩時間の短縮・延長**

**妊娠中の健康診査  
及び保健指導のための  
職務専念義務免除**

**妊娠中の業務軽減等**

※ 産前・産後休暇は女性を対象とした休暇。「配偶者出産休暇」(妻の出産に伴う入院の付き添い等、2日以内)、「育児参加のための休暇」(妻の出産予定日の6週間前の日から出産の日以後1年を経過する日まで、5日以内)は男性を対象とした休暇。そのほかの休暇は、男女問わず利用することができます。

## 出産・育児に係る休暇、育児休業制度の活用例



### 令和4年10月1日から、 育児休業・育児参加のための 休暇をより取りやすく改正。

- ▷ 子の3歳の誕生日の前日まで、育児休業を原則2回(改正前:原則1回)まで取得可能に。
- ▷ 上記育児休業とは別に、産後パパ育休(子の出生日から57日間以内にする育児休業)を2回(改正前:1回)まで取得可能に。
- ▷ 育児参加のための休暇について、妻の出産予定日の6週間前の日から出産の日以後1年を経過する日まで(改正前:出産の日以後8週間を経過する日まで)の期間において、5日の範囲内で使用可能に。

もっと詳しく読む



● 配偶者出産休暇

■ 育児参加のための休暇

## 柔軟な働き方で 家庭とキャリアの ベストバランスを実現する



### ■ 利用した制度や働き方改革をした点

1人目の子どもが産まれてから約2か月、2人目の子どもが産まれてから約1か月、育児休業等を取得しました。休業期間中は、子どもが日々成長していく姿を間近で見ることができ、幸せな時間を過ごすことができました。また、子育ての楽しみや不安を妻と密に共有することにより、夫婦の信頼関係も高まったと感じています。現在は、子どもを保育園へ送り届けるため、遅出出勤制度を活用しています。朝は子どもがぐずつくことも多いのですが、制度のおかげで余裕を持って対応できています。

### ■ 日々の仕事

法務総合研究所研修第三部で、法務省の地方機関である法務局・地方法務局で働く職員向けの研修に関する業務を担当しており、現在は、研修での民法の講義を担当しているほか、研修で使用する講義資料の作成、外部講師との打合せなどを日常業務として行っています。民法の知識を職員に向けて分かりやすく伝えることが求められており、改めて民法を学び直しているほか、説明能力の向上に努めているところです。

### ■ 制度の活用や働き方改革により変化したこと

子どもが産まれてからは、繁忙のしわ寄せができる限り子どもに向かわないように、働き方を工夫するようになりました。具体的には、仕事に優先順位を付け、メリハリを効かせて働くようになったほか、繁忙の際は子どもの寝かしつけ後に自宅からリモートで業務処理を行うなどしています。また、通勤時間を自学の時間に充てるなど、自己研さんを積む時間も可能な範囲で確保できるよう心がけています。

### ONEDAY | ある1日のスケジュール

09:45	子どもを保育園に送って出勤
10:30	研修の講義資料作成・見直し
12:00	昼食
13:00	研修での講義
17:00	研修の試験問題作成
18:45	退庁 帰宅後、子どもと夕食、お風呂、各種家事

### message

### 配偶者からのメッセージ

共働きで限られた時間の中、効率的に家事をこなし、子どもとの時間がとれるよう、仕事や家事の合理化を図っていく行動力。本当に感心します。いつも家族を1番に考えてくれてありがとう！子どもたちはまだまだ手がかかる時期だけど、一緒に頑張ろう！



## 総合職試験の概要

総合職試験は、政策の企画及び立案又は調査及び研究に関する事務をその職務とする係員の採用試験です。

### 院卒者試験

#### > 試験の区分

行政・人間科学、デジタル、工学、  
数理科学・物理・地球科学、化学・生物・薬学、農業科学・水産、  
農業農村工学、森林・自然環境、法務

#### > 受験資格

30歳未満で大学院修了又は大学院修了見込みの者<sup>(注1)</sup>  
(法務区分は司法試験の合格者であることも要件)

#### > 試験種目

試験	法務区分以外の区分	法務区分
第1次試験	基礎能力試験(多肢選択式)、専門試験(多肢選択式)	基礎能力試験(多肢選択式)
第2次試験	専門試験(記述式)、政策課題討議試験、人物試験、英語試験 <sup>(注2)</sup>	政策課題討議試験、人物試験、英語試験 <sup>(注2)</sup>

### 大卒程度試験

#### > 試験の区分

政治・国際・人文、法律、経済、人間科学、デジタル、  
工学、数理科学・物理・地球科学、化学・生物・薬学、  
農業科学・水産、農業農村工学、森林・自然環境、  
教養(秋に試験を実施)

#### > 受験資格

21歳以上30歳未満の者  
(教養区分は19歳以上30歳未満の者が受験可)<sup>(注1)</sup>

#### > 試験種目

試験	教養区分以外の区分	教養区分
第1次試験	基礎能力試験(多肢選択式)、専門試験(多肢選択式)	総合論文試験、基礎能力試験(多肢選択式)
第2次試験	専門試験(記述式)、政策論文試験、人物試験、英語試験 <sup>(注2)</sup>	企画提案試験、政策課題討議試験、人物試験、英語試験 <sup>(注2)</sup>

(注1) 年齢は、その試験の名称に掲げる年度の4月1日現在における年齢です。教養区分については、2023年度の試験から受験資格が19歳以上30歳未満の者となりました。

(注2) 英語試験(外部英語試験の活用)：活用する英語試験は、TOEFL(iBT)、TOEIC(L&R)、IELTS、実用英語技能検定(英検)の4種類で、最終合格者決定の際に、スコア等に応じて、総得点に15点又は25点を加算します。

	TOEFL(iBT)	TOEIC(L&R)	IELTS	英検
15点加算	65以上	600以上	5.5以上	—
25点加算	80以上	730以上	6.5以上	準1級以上

## 給与・勤務時間など

(令和5年4月現在)

初任給	<院卒者試験採用>268,000円 <sup>※1</sup> <大卒程度試験採用>236,440円 <sup>※1</sup>
諸手当	扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当など
昇給	原則年1回
賞与(ボーナス)	期末手当、勤勉手当として、1年間に俸給の月額等の約4.4月分(6月、12月に支給)
勤務時間	1日7時間45分 <sup>※2</sup>
休暇等	年次休暇20日 <sup>※3</sup> 残日数は20日を限度として翌年に繰越し その他、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等)、介護休暇等
休日	土・日、祝日等・年末年始(12月29日～1月3日) <sup>※2</sup>

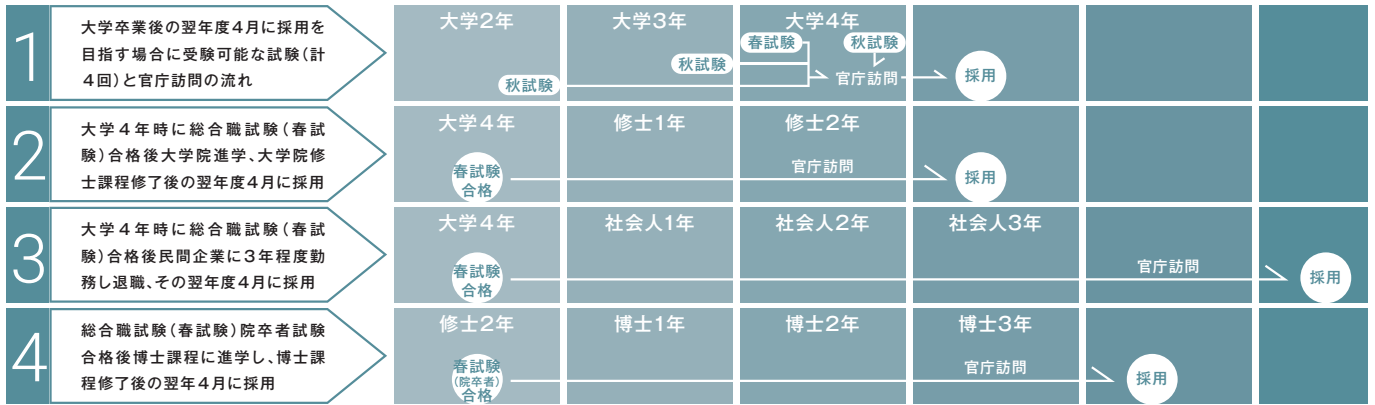
※1 本府省に勤務する場合の俸給(行政職俸給表(一)2級)、本府省業務調整手当、地域手当の合計

※2 職務の必要等に応じて異なる場合があります。

※3 4月1日採用の場合、採用年は15日

試験内容や出題分野をご覧になりたい方、最新の詳しい情報を知りたい方は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」内の「試験情報」をご覧ください。

## 試験から採用までの流れ



### 1.「合格」=「採用」ではありません。

総合職試験に合格すると採用候補者名簿に5年間(教養区分は6年6月間)(注)記載されるので、その間、志望する府省を訪問(官庁訪問)して、内々定を得る必要があります。

(注)2022年度(令和4年度)以前の試験の合格者については採用候補者名簿の有効期間は3年間ですので、ご注意ください。

### 2.各種試験と採用時期の組み合わせ

総合職試験には、実施時期に応じて、春試験(「教養区分」以外)と秋試験(大卒程度「教養区分」)の2種類があります。また、採用候補者名簿の有効期間は、2023年度の試験より、最終合格発表日から5年間(教養区分は6年6月間)(注)となりましたので、例えば、大学4年生で総合職春試験に合格し、大学院(修士)修了後又は民間企業などで3年程度勤務した方でも、再度試験を受験することなく、各府省の官庁訪問を経て採用されることが可能です。

## 官庁訪問

- 官庁訪問は、志望府省を訪問し、業務説明や面接を受けるもので、志望府省に採用されるための重要なステップです。
- 「採用試験合格=採用」ではなく、官庁訪問を経て志望府省の内々定を得ることで採用に至ります。
- 志望府省に関する知識を深めるとともに自己PRの重要な機会となります。
- 複数の府省を訪問できますので、志望府省を積極的に訪問しましょう。

story of one's experience

### 若手職員 体験談

官庁訪問で心掛けたこと、  
これから官庁訪問する人へアドバイスをお願いします。

もっと詳しく読む



**官**庁訪問は、職員と一対一で話すことができる貴重な機会だと思います。官庁と一緒に働きたい人を見つける場でもあり、志望者が働きたい場所を選ぶ機会、つまり、自分にその職場が合うか合わないか判断する場でもあると思います。いわば「マッチング」だと思って、肩の力を抜いて職員との会話を楽しむ気持ちで臨むと有意義だと思います。

内閣府

Aさん



**そ**の場で聞いた話にどれだけ興味をもち、何を学んで、どのような疑問が生じたのかを伝えることが大事だと思います。もちろん、あらかじめ勉強し準備しておくのも良いですが、せっかく官庁訪問で職員の方々が自身の経験を伝えて下さっているのですから、可能な限り多くのことを吸収するようにしましょう。官庁訪問の中で成長が見られると良いのではないのでしょうか。

会計検査院

Bさん



**自**分の実現したいことや興味分野を明確にしておき、職員との会話の中で、自分なりの想いを伝えられるようにしました。また、これまで業務説明会に参加した際のメモや採用パンフレットを見直し、興味関心分野の政策については話を振られても議論できるよう、予習しておいたのが功を奏しました。日ごろから新聞やニュースにアンテナを張ってネタ集めをすると、質問の幅が広がるのでおすすめです!

公安調査庁

Cさん



**い**わゆるガクチカなど、自分の「過去」を問われやすい民間企業の面接とは異なり、官庁訪問では何に問題意識を持ち、どのようにしていきたいかという「未来」を問われやすい場だと思っています。ただ、最初から自分の思い描く「未来」が完成されている必要はなく、職員との会話を通して、よりはっきりと描けるようになることが重要です。

環境省

Dさん



官庁訪問のルールやスケジュール等の詳しい情報を知りたい方は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」内の「採用情報」をご覧ください。

## 2022年度総合職試験実施状況

試験の区分		院卒者試験		大卒程度試験		計	
院卒者試験	大卒程度試験	申込者数	合格者数	申込者数	合格者数	申込者数	合格者数
行政	政治・国際	344 (117)	154 (54)	1,300 (565)	196 (65)	10,940 (4,854)	884 (291)
	法律			7,954 (3,760)	380 (131)		
	経済			1,342 (412)	154 (41)		
人間科学		125 (79)	46 (24)	370 (247)	28 (17)	495 (326)	74 (41)
デジタル		60 (8)	28 (4)	147 (31)	47 (12)	207 (39)	75 (16)
工学		365 (54)	149 (22)	1,200 (255)	195 (33)	1,565 (309)	344 (55)
数理科学・物理・地球科学		158 (28)	38 (1)	162 (38)	16 (5)	320 (66)	54 (6)
化学・生物・薬学		305 (101)	60 (22)	381 (177)	23 (6)	686 (278)	83 (28)
農業科学・水産		174 (67)	79 (28)	428 (203)	114 (58)	602 (270)	193 (86)
農業農村工学		17 (4)	10 (3)	163 (45)	64 (19)	180 (49)	74 (22)
森林・自然環境		108 (37)	54 (18)	227 (88)	38 (10)	335 (125)	92 (28)
小計		1,656 (495)	618 (176)	13,674 (5,821)	1,255 (397)	15,330 (6,316)	1,873 (573)
法務		13 (3)	9 (2)			13 (3)	9 (2)
教養				2,952 (1,162)	255 (87)	2,952 (1,162)	255 (87)
合計		1,669 (498)	627 (178)	16,626 (6,983)	1,510 (484)	18,295 (7,481)	2,137 (662)

注) ( )内の数字は、女性の内数です。

## 2024年度総合職試験における主な変更点

### 「政治・国際・人文区分」の創設等

1 総合職試験(院卒者試験)「行政区分」の選択Ⅰ「政治・国際系」と総合職試験(大卒程度試験)「政治・国際区分」を改編し、選択Ⅰ「政治・国際・人文系」と「政治・国際・人文区分」を創設します。

思想・哲学、歴史学、文学・芸術、人文地理学・文化人類学といった分野が新たに出題され、人文系の専攻者が自らの専門分野を選択して受験できるようになります。

### 試験問題の出題の見直し

- 2
- 春の大卒程度試験において基礎能力試験の出題数を40題から30題に削減します。  
併せて、知識分野は時事問題を中心とし、普段から社会情勢等に関心を持っていれば対応できるような内容とします。
  - 総合職試験(院卒者試験)「行政区分」並びに総合職試験(大卒程度試験)「政治・国際・人文区分」、「法律区分」及び「経済区分」の専門試験(記述式)について、解答題数を3題から2題に削減し、試験準備の負担感を軽減します。
  - 基礎能力試験において、情報に関する問題を出題します。

※上記①の基礎能力試験の出題数削減は知識問題を中心に行い、上記①・②の出題数や解答題数の削減に伴って解答時間も短縮します。

#### 春の大卒程度試験の基礎能力試験

現行(知能問題27問・知識問題13問):3時間 見直し後(知能問題24問・知識問題6問):2時間20分

#### 上記②の各区分の専門試験(記述式)

現行:4時間 見直し後:3時間

これに併せて上記②以外の総合職試験全区分の専門試験(記述式)の解答時間を、3時間30分から3時間に短縮します。

※上記①及び③の見直しに伴って、知能分野を含む基礎能力試験の出題構成を変更します。

### 春の総合職試験日程の更なる前倒し

3 2024年は更に前倒し、第1次試験を3月17日(日)に実施し、最終合格者を5月下旬に発表します。  
※これまで秋に実施していた総合職試験「法務区分」は、司法試験日程の変更に伴い2024年から春試験として実施します。

総合職試験府省等別・試験の区分別採用状況

(令和5年4月1日現在)

府省等	院卒者試験										大卒程度試験										合計		
	行政	人間科学	デジタル	工学	数理科学・物理・地球科学	化学・生物・薬学	農業科学・水産	農業農村工学	森林・自然環境	法務	政治・国際	法律	経済	人間科学	デジタル	工学	数理科学・物理・地球科学	化学・生物・薬学	農業科学・水産	農業農村工学		森林・自然環境	教養
会計検査院	1									2 (1)	1 (1)				1							5 (2)	
人事院		1 (1)									2 (1)	2		1 (1)								6 (3)	
内閣府	4 (4)	1								3 (1)	4 (2)	1	1 (1)									2 (1)	16 (9)
デジタル庁	2 (1)		1 (1)							1				1								1	6 (2)
公正取引委員会	3 (2)								1 (1)		2 (1)	3 (1)											9 (5)
警察庁	2 (1)	1 (1)		1				1		1	5 (1)	3 (2)			1							12 (3)	27 (8)
金融庁	2			2 (1)								5 (1)										3 (1)	12 (3)
消費者庁								1 (1)			2 (1)												3 (2)
総務省	13 (6)		1	3	1					7 (3)	11 (6)	3 (1)		3 (2)	1 (1)	1						26 (4)	70 (23)
消防庁								1 (1)										1					2 (1)
法務省	4 (2)	7 (3)								1 (1)	7 (2)	1 (1)	8 (5)										28 (14)
出入国在留管理庁	1 (1)									4 (1)	3												8 (2)
公安調査庁				1							3 (1)		1 (1)										5 (2)
外務省	3 (1)						1 (1)			14 (8)												16 (6)	34 (16)
財務省	3 (1)			2						8 (3)	8 (3)	4 (3)					1					16 (4)	42 (14)
国税庁	1				1 (1)	1	1	1		2 (2)	1	3					1 (1)						11 (4)
文部科学省	3 (1)	4 (1)		2	2	4 (2)		2 (2)			9 (6)	1			2	1 (1)						5 (1)	35 (14)
厚生労働省	5 (1)	3 (1)	1		5	9 (3)				5 (4)	10 (4)	7 (6)	1		1	1	2 (2)	2 (2)				9 (4)	61 (27)
農林水産省	1		1	1	1	16 (7)	4 (1)	8 (2)		3 (2)	9 (3)	3 (1)		2	1			30 (16)	14 (5)	8 (4)	10 (4)	112 (45)	
経済産業省	4		3 (1)	8 (1)	3 (1)					7 (2)	3	4			4	4 (2)	1 (1)					18 (6)	59 (14)
特許庁				14 (6)	2	7 (3)								2 (2)	11 (1)		3 (2)	3 (2)					42 (16)
国土交通省	7 (2)	1 (1)	1	37 (5)	2	1	1 (1)	1 (1)	9 (4)	2 (1)	12 (6)	4 (2)		1	35 (7)			2 (2)	1	3 (1)	9 (2)	129 (35)	
気象庁				2	6 (2)										1								9 (2)
海上保安庁				2	1 (1)	2 (1)																	5 (2)
環境省	3 (1)					3 (2)	2	5 (3)			7 (4)				1		1	3 (2)		3	2	30 (12)	
原子力規制庁	1 (1)					2 (1)				2													5 (2)
防衛省	1		1 (1)	10 (3)						8 (4)	1 (1)	1		1 (1)								4 (1)	27 (11)
防衛装備庁				8	1	2									2		1						14
(独)造幣局															1								1
(独)国立印刷局			1											1	1								3
合計	64 (25)	18 (8)	10 (3)	93 (16)	20 (3)	33 (13)	23 (10)	5 (2)	28 (13)	1 (1)	70 (33)	100 (43)	45 (18)	11 (7)	12 (6)	63 (9)	7 (3)	10 (6)	41 (24)	15 (5)	14 (5)	133 (37)	816 (290)

(注1) 2022年度総合職試験の合格者で最終合格者発表日以後令和5年4月1日までの間に採用された者の数です(過年度試験の合格者で同期間内に採用された者を含む)。

(注2) ( )内の数字は、女性の内数です。

令和7年4月の採用予定数は、令和6年2月初旬頃に人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。

その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。

なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考にしてください。

RECRUITMENT STATUS / 採用状況

## 人事院地方事務局(所)の連絡先

北海道事務局	Tel. 011-241-1248	〒060-0042	札幌市中央区大通西12丁目
東北事務局	Tel. 022-221-2022	〒980-0014	仙台市青葉区本町3-2-23
関東事務局	Tel. 048-740-2006	〒330-9712	さいたま市中央区新都心1-1
中部事務局	Tel. 052-961-6838	〒460-0001	名古屋市中区三の丸2-5-1
近畿事務局	Tel. 06-4796-2191	〒553-8513	大阪市福島区福島1-1-60
中国事務局	Tel. 082-228-1183	〒730-0012	広島市中区上八丁堀6-30
四国事務局	Tel. 087-880-7442	〒760-0019	高松市サンポート3-33
九州事務局	Tel. 092-431-7733	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東2-11-1
沖縄事務所	Tel. 098-834-8400	〒900-0022	那覇市樋川1-15-15

## 国家公務員試験や採用に関する最新の情報はこちらをチェック！



### 国家公務員試験採用情報NAVI

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>

### X(旧Twitter)

[https://twitter.com/jinjin\\_saiyo](https://twitter.com/jinjin_saiyo)



### Instagram

<https://www.instagram.com/jinjin.saiyo/>

### メールマガジン

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/merumaga/mailmagazine.html>



### 内閣人事局のホームページ 国家公務員 CAREER GUIDE

<https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/recruit/index.html>

## お問い合わせ

### 人事院 人材局 企画課 人材確保対策室

〒100-8913 東京都千代田区霞が関1-2-3

Tel.03-3581-5311(代表)

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

2023年9月発行